



2021年 春号

URL : <http://www.karashi.net/>

“あの時”に完成した「八ッ場ダムの奇跡」 ～天災と神の主権を想う～

想定外の津波、原発事故を引き起こした東日本大震災から 10 年、群馬県「八ッ場ダム」のことを想起させられました。FVI 創立以来、毎月「祈りのリトリート」のために特別な便宜を図ってくださってきた群馬県万座温泉日進館に向かう途中でいつも見かけるダムだけに特別な関心がありました。利根川（流域面積は 1 都 5 県を擁し日本最大、三大「暴れ川」のひとつ）の治水のために建造されたダムです。

地元出身の福田赳夫前首相が蔵相就任時、「ダムは 1969 年ごろには完成させたい」と述べたものの、地域住民の強硬な反対運動のため、「工事実施基本計画」が策定されたのは 1980 年のこと、そして建設省が念願の付帯工事に着手できたのは 1994 年。以来着実に進むかのように見えた工事でしたが、2010 の民主党による政権交代は「事業仕分け」の目玉としてスーパー堤防事業をやり玉にあげ、廃止を決定、三年三か月にわたり工事は中断されました。その後復活した自公政権が再開した八ッ場ダム工事は、多々の紆余曲折を経ましたが 2020 年 3 月完成予定までこぎ着けました。

約 3 か月をかけて満水にする予定で試験湛水が始められた直後の 10 月 12 日には大型台風 19 号が関東圏を直撃。三日後、国土交通省はダム貯水率が 100%に達し、これ以上の貯水は不可能、緊急放流せざるを得ない状態になったと発表。まさに間一髪の危機でした。

ダムが完成したのが“あの時”だったために、東京首都圏を含む利根川流域は大惨事を免れたのです。東日本大震災から 10 年の今、歴史を支配し、政治的立場の違いさえ用いて、絶妙のタイミングで「ご自分の計画」を遂行なさるお方により頼む幸いを覚え、全能の神のみ名を賛美しようではありませんか。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

* F V I の働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。